

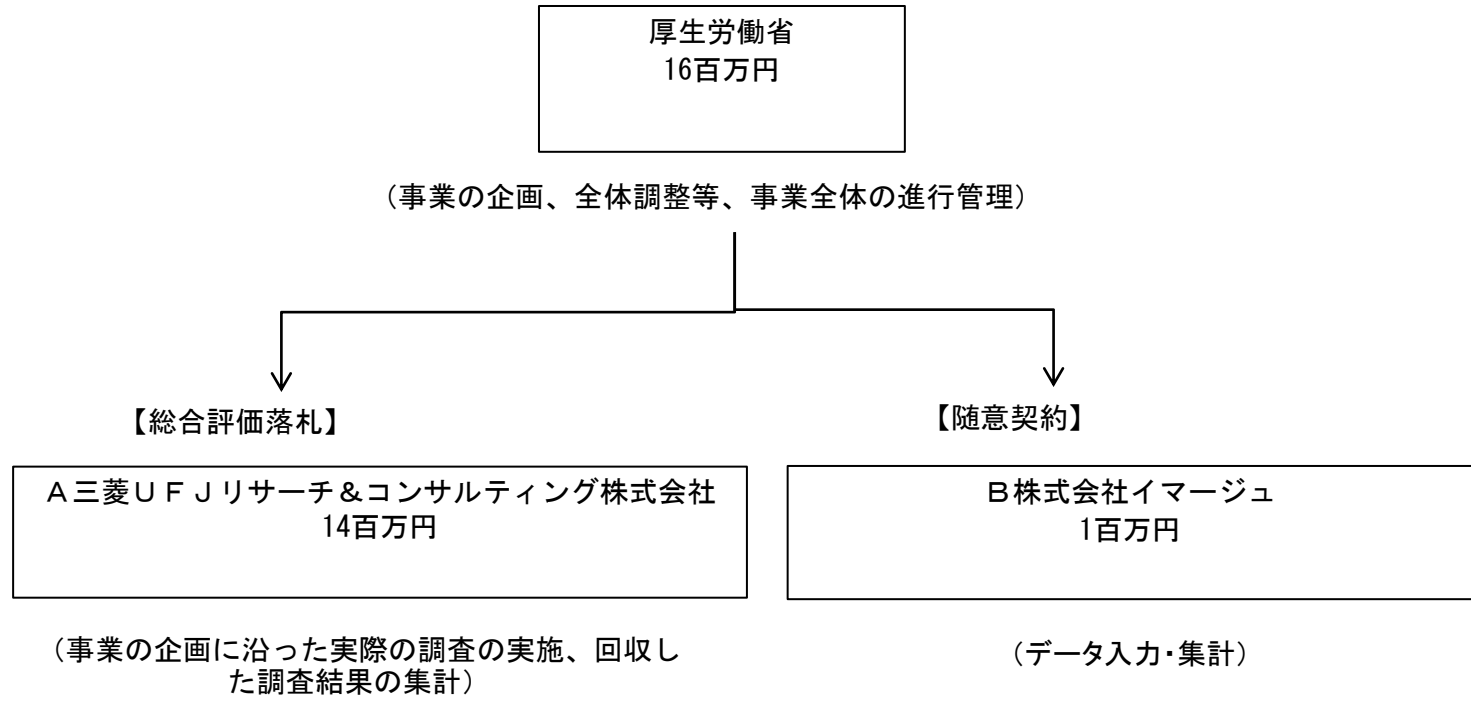
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	保険医療材料等の価格情報収集費		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度		担当課室	医療課	宇都宮 啓		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	外国における保険医療材料に関する保険償還価格や市場実勢価格等に関する情報及び医療材料の流通形態等に関する情報を収集し、日本との比較・分析を行う。改定年度については、国内における手技毎の医療材料の費用についての調査も実施する。これらの調査結果をもって、診療報酬改定の議論に資することを目的としている。さらに、保険医療材料の保険適用についてのデータ作成を実施し、厚生(支)局、関係団体等へ通知する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	海外調査については、英、米、独、仏、豪以外の国における医療材料価格、これらの国の流通システム、薬事審査体制及び附帯的サービスの提供状況等について調査を実施し、質問票を各国政府及び調査対象機関に送付し、さらに、実地調査において、調査対象機関を訪問し、質問票に対する回答を得るとともに、ヒアリングを通して問題点を掘り下げるとともに、関係施設への実態調査等を行う。国内調査については、保険材料を購入している保険医療機関に対して、購入費用に関するアンケート調査を実施し、材料購入の状況に関する調査を実施する。保険医療材料の保険適用について、厚生(支)局や関係団体に通知する上で、膨大な量である保険適用希望書のデータ入力業務を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	16	35	16	39	36
		補正予算					
		繰越し等					
		計	16	35	16	39	36
		執行額	14	26	15		
	執行率(%)	92.55%	76.41%	93.75%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	海外の医療材料情報や国内の医療材料価格情報等を取得して、診療報酬改定における基礎資料とすることを目的としており、定量的な評価は不可能である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	英、米、独、仏から資料を取り寄せて、海外材料についての比較調査を実施し、国内の手技毎の医療材料の費用について調査を実施した。対象数などについては、調査全体を一括して対応するものであるため、定量的な指標の作成は困難である。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠	当事業については、海外及び国内の医療材料価格を対象とした調査・分析・集計等を実施する事業であるため、統計調査と同様な単純単価算出は困難である。		
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	海外調査業務	19	19	調査内容の精査による減			
	国内調査業務	19	16				
	データ入力業務	1	1				
計	39	36					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	適切な医療材料価格を設定することは、医療費を支払う国民が求めるところであり、そのためのデータ収集業務である本事業は優先度が高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	適切な医療材料価格を設定することは、医療費の適正化につながるため、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	適切な医療材料価格を設定するためのデータを得ることは、医療費適正化の観点から優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価落札方式による選定であり、競争性は確保されており、また企画書を評価するので、事業実施に適切な業者選定が出来ている。少額随意契約については、数社から見積もりを取っており、最安値を提示した事業者を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	全ての費目について、調査を実施し、その結果を得るための経費として使用されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	診療報酬改定において必要とされる十分なデータを得られている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	得られた成果物（データ）をもって、診療報酬改定を実施しており、十分に活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	執行額については、総合評価落札及び少額随契による結果によるものであり、特段の問題はないと判断。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き適切な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	271	平成23年	242	平成24年	208

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブ
 ロックごとに最大の金額が支出
 されている者について記載す
 る。費目と使途の双方で実情が
 分かるように記載)

A. 三菱UFリサーチ&コンサルティング株式会社

費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事業の企画に沿った実際の調査の実施、 回収した調査結果の集計	4
物件費	印刷費、郵送料等	8
その他	一般管理費、消費税	2
計		14

B. 株式会社イメージ

費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	データ入力、集計	1
計		1

C.

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

D.

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

E.

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

F.

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

G.

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

H.

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計	14	2	97%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社イマージュ	データ入力・集計	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					